

# 相 談 事 例

ID： 02-02-009

## 相談タイトル

7年前に新築した家の庭部分の水はけについて

### Q：ご相談内容

敷地内の庭（更地）部分が、玄関アプローチ部分やカーポートの位置より高くなってしまったため、水はけが悪く、当初は、膝かしらほどの深さの水たまりができていた。業者に手直ししてもらい、今は足首くらいまでになったが、まだ水たまりはできている。業者の提案で、水はけを良くするために、角がとがったガラを入れたが、転圧したばかりの時は良かったが、徐々にとがった角が表面に出てくるため、怪我をしてしまう。業者からもう少し小さいサイズのガラを入れる提案を受けているが、それが最良の方法なのか。

### A：回答

（※状況確認：建物敷地とカーポート敷地及び庭の地盤高さが異なり、建物とカーポート及びその周辺の雨水は、道路側溝に排水。庭については排水先がなく、基本的には、浸透処理をしている）

・今でも足首あたりまで雨水がたまってしまおうとのことですが、そのことを解消するには、排水先がないとすると地下浸透部分の貯留容積が大きくなると解消は難しいと考えます。

当面、水で洗われて、角がとがった碎石が表出していることを解消することで良いのであれば、その旨、業者に話をして、細骨材（砂等）が洗われても、角のとがった粗骨材が出ないような材料の選択をお願いしてみても考えます。

現在の入っている業者に根本的な解決を行う為の良い方法が提案できないようであれば、土木コンサル業者等に状況を説明し、より確実な提案を受けることがよいと考えます。